- 2. 【現在までの研究状況】(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。様式の変更・追加は不可(以下同様))
 - ① これまでの研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述してください。
 - ② 申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について整理し、①で記載したことと関連づけて説明してください。その際、博士課程在学中の研究内容が分かるように記載してください。申請内容ファイルの「4.【研究成果】」欄に記載した論文、学会発表等を引用する場合には、同欄の番号を記載するとともに、申請者が担当した部分を明らかにして記述してください。

これまでの研究の背景、	問題点、	解決方策

(現在までの研究状況の続き)	

		究計画の背景、問題点、解	央すべき点、着想に至った経	S緯等について参考文献を挙げて
記入してください。				
②)研究目的・(力容 (図表を含めてもよい(ので、わかりやすく記述し [~]	てください)	
② どのような計画③ 共同研究の場合	方法、研究内容について記え で、何を、どこまで明らかに には、申請者が担当する部分	こしようとするのか、具体的 fを明らかにしてください。	に記入してください。	予定している場合はその旨を記載
② どのような計画③ 共同研究の場合④ 研究計画の期間	方法、研究内容について記え で、何を、どこまで明らかに には、申請者が担当する部分	こしようとするのか、具体的 fを明らかにしてください。	に記入してください。	予定している場合はその旨を記載
② どのような計画③ 共同研究の場合④ 研究計画の期間	方法、研究内容について記え で、何を、どこまで明らかに には、申請者が担当する部分	こしようとするのか、具体的 fを明らかにしてください。	に記入してください。	予定している場合はその旨を記載
② どのような計画③ 共同研究の場合④ 研究計画の期間	方法、研究内容について記え で、何を、どこまで明らかに には、申請者が担当する部分	こしようとするのか、具体的 fを明らかにしてください。	に記入してください。	予定している場合はその旨を記載
② どのような計画③ 共同研究の場合④ 研究計画の期間	方法、研究内容について記え で、何を、どこまで明らかに には、申請者が担当する部分	こしようとするのか、具体的 fを明らかにしてください。	に記入してください。	予定している場合はその旨を記載
② どのような計画③ 共同研究の場合④ 研究計画の期間	方法、研究内容について記え で、何を、どこまで明らかに には、申請者が担当する部分	こしようとするのか、具体的 fを明らかにしてください。	に記入してください。	予定している場合はその旨を記載
② どのような計画③ 共同研究の場合④ 研究計画の期間	方法、研究内容について記え で、何を、どこまで明らかに には、申請者が担当する部分	こしようとするのか、具体的 fを明らかにしてください。	に記入してください。	予定している場合はその旨を記載
② どのような計画③ 共同研究の場合④ 研究計画の期間	方法、研究内容について記え で、何を、どこまで明らかに には、申請者が担当する部分	こしようとするのか、具体的 fを明らかにしてください。	に記入してください。	予定している場合はその旨を記載
② どのような計画③ 共同研究の場合④ 研究計画の期間	方法、研究内容について記え で、何を、どこまで明らかに には、申請者が担当する部分	こしようとするのか、具体的 fを明らかにしてください。	に記入してください。	予定している場合はその旨を記載
② どのような計画③ 共同研究の場合④ 研究計画の期間	方法、研究内容について記え で、何を、どこまで明らかに には、申請者が担当する部分	こしようとするのか、具体的 fを明らかにしてください。	に記入してください。	予定している場合はその旨を記載
② どのような計画③ 共同研究の場合④ 研究計画の期間	方法、研究内容について記え で、何を、どこまで明らかに には、申請者が担当する部分	こしようとするのか、具体的 fを明らかにしてください。	に記入してください。	予定している場合はその旨を記載

3. 【これからの研究計画】

− 5 **−**

(研究目的・内容の続き)	

(3) 研究の特色・独創的な点 次の項目について記載してください。	
① これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点	
② 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義 ③ 本研究が完成したとき予想されるインパクト及び終来の見通し	
② 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義 ③ 本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し	

申請時点から採用までの準備)	
1年目)	
2年目)	
3年目)	

(4) 年次計画

5) 受入研究室の選定理由	
採用後の受入研究室を選定した理由について、次の項目を含めて記載してください。	
① 受入研究室を知ることとなったきっかけ、及び、採用後の研究実施についての打合せ状況	
② 申請の研究課題を遂行するうえで、当該受入研究室で研究することのメリット、新たな発展・展開 ※ 個人的に行う研究で、指導的研究者を中心とするグループが想定されない分野では、「研究室」を「研究者」と読み替えて記載	iii) 1
※ 個人的に行う別元(、指等的別元有を中心とするシルークが恋足さればい力野では、「明元至」を「明元有」と説の音をで記 てください。	災し
CVICEV.	
。 う)人権の保護及び法令等の遵守への対応	
6) 人権の保護及び法令等の遵守への対応 本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、タ	 E命
本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、	を講
本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、 倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を じるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けたまの使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等におい	を講 試料
本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、 倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を じるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けたまの使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等におい承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続きの状況も具体的に記述してください。	を講 試料
本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、 倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を じるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けたまの使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等におい	を講 試料
本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、 倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を じるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けたまの使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等におい承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続きの状況も具体的に記述してください。	を講 試料
本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、全倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置をじるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた記の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等におい承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続きの状況も具体的に記述してください。なお、該当しない場合には、その旨記述してください。	を講 試料

- 4. 【研究成果】(下記の項目について申請者が<u>中心的な役割を果たしたもののみ</u>項目に区分して記載してください。その際、通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記載してください。申請者にアンダーラインを付してください。論文数・学会発表等の回数が多くて記載しきれない場合には、主要なものを抜粋し、各項目の最後に「他○報」等と記載してください。 査読中・投稿中のものは除く)
- (1) **学術雑誌等(紀要・論文集等も含む)に発表した論文、著書**(査読の有無を区分して記載してください。査読のある場合、印刷済及び採録決定済のものに限ります。)

著者(申請者を含む全員の氏名(最大 20 名程度)を、論文と同一の順番で記載してください)、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp 開始頁-最終頁、発行年をこの順で記入してください。

- (2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説
- (3) 国際会議における発表(ロ頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載してください)

著者(申請者を含む全員の氏名(最大 20 名程度)を、論文等と同一の順番で記載してください)、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。発表者に○印を付してください。(発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載しても構いません。)

- (4) 国内学会・シンポジウム等における発表
 - (3)と同様に記載してください。
- (5) 特許等 (申請中、公開中、取得を明記してください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述で構いません。)
- (6) その他 (受賞歴等)
 - (1) 学術雑誌 (紀要・論文集等も含む) に発表した論文及び著書

(査読有り)

1.

(査読なし)

- (2) 学術雑誌等又は商業誌における解説・総説
- (3) 国際会議における発表

1.

他1件

(4) 国内学会・シンポジウムにおける発表

1.

他3件

- (5) 特許等
- (6) その他

1.

由請者登録名	千草颯
	1 -1-273

(研究成果の続き)	